

県内の景気動向

概況（2026年2月）

景気は、緩やかに拡大している（30カ月連続）

消費関連では、百貨店、スーパー売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、節約志向が継続しつつも旺盛な観光需要を背景に回復の動きが強まっていること、建設関連は、受注額の増加から手持ち工事額が増加傾向にあり回復の動きが強まっていること（上方修正）、観光関連は、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、力強く拡大していることなどから、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、旺盛な観光需要にけん引され底堅い推移が見込まれることから、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、5カ月ぶりに前年を上回った。催事企画や、春節時期の相違による免税売上の増加などが全体の売上を押し上げた。スーパー売上高は、来店客数の増加がみられ、既存店、全店ベースともに6カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、用途別では事業用が増加したものの、レンタカーや自家用車が減少し全体を押し下げたことなどから7カ月連続で前年を下回った。家電大型専門店販売額（1月）は、年始の販促施策の効果で大型家電の売上が伸長し、2カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、旺盛な観光需要を背景に底堅い推移が見込まれ、緩やかな回復の動きが続くとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県は減少したものの、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（1月）は、居住用、非居住用ともに増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数（1月）は、持家、貸家、給与住宅、分譲ともに増加したことから6カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから4カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに8カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は4カ月連続で前年を下回り、木材売上高は2カ月連続で前年を下回った。

先行きは、資材価格の高止まりや人手不足などに注視する必要があるものの、公共工事・民間工事の受注増から手持ち工事額が増加し、回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、51カ月連続で前年を上回った。国内客は20カ月連続で増加し、外国客は41カ月連続で増加した。中国の渡航自粛による減少分を、他国からの入域観光客数が補った。県内主要ホテルは、稼働率は23カ月連続で前年を上回り、売上高は21カ月連続で前年を上回り、宿泊収入は2カ月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は48カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は5カ月連続で減少し、売上高は3カ月ぶりに前年を上回った。堅調な国内観光需要や外国客の増加により、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、春休みや大型連休の旅行需要に伴い国内客の増加も予想されることから、引き続き力強く拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数（1月）は、前年同月比 6.1%減となり 9 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、情報通信業や卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（1月、季調値）は 1.07 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。完全失業者数は 2 万 2,000 人で同 10.0%増となり、完全失業率（1月、季調値）は 3.1%で、前月と同水準となった。

その他

消費者物価指数（1月）は、前年同月比 1.5%の上昇となり、53 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.9%の上昇となった。

倒産件数は 8 件で前年同月から 6 件増加した。負債総額は 17 億 9,200 万円で、前年同月比 1,728.6%増となった。

りゅうぎん調査（2026年2月）

増減率(%)

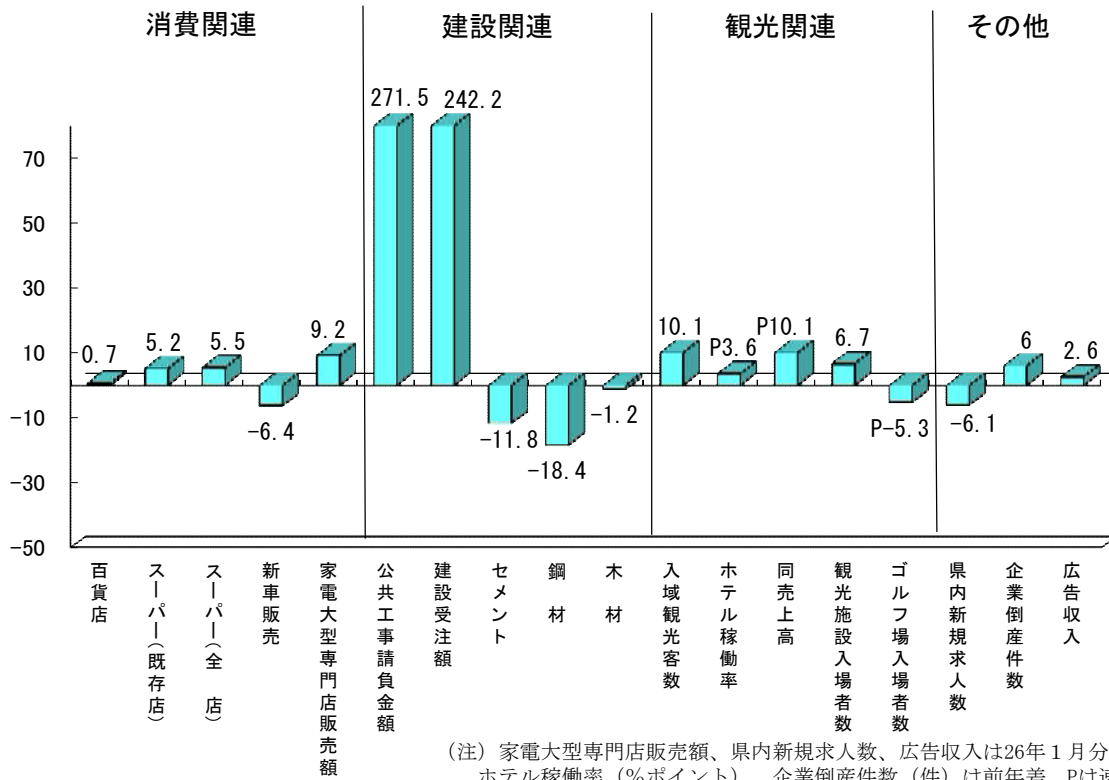
	前年同月比	前年同期比 (2025.12－2026.2)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	0.7	▲ 3.8
(2) スーパー(既存店)(金額)	5.2	4.0
(3) スーパー(全店)(金額)	5.5	4.2
(4) 新車販売(台数)	▲ 6.4	▲ 5.1
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(1月) 9.2	(11-1月) 1.7
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	271.5	120.3
(2) 建築着工床面積(m ²)	(1月) 71.1	(11-1月) 25.5
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(1月) 24.5	(11-1月) 17.1
(4) 建設受注額(金額)	242.2	143.1
(5) セメント(トン数)	▲ 11.8	▲ 8.3
(6) 生コン(m ³)	▲ 14.3	▲ 10.0
(7) 鋼材(金額)	▲ 18.4	▲ 11.3
(8) 木材(金額)	▲ 1.2	▲ 1.7
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	10.1	7.5
うち外国客数(人数)	25.3	12.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 3.6 (実数) P 72.8	(前年同期差) P 2.1 (実数) P 64.4
(3) " 売上高(金額)	P 10.1	P 7.2
(4) 観光施設入場者数(人数)	6.7	6.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	P ▲ 5.3	P ▲ 9.1
(6) " 売上高(金額)	P 6.1	P ▲ 0.6
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(1月) ▲ 6.1	(11-1月) ▲ 7.8
(2) 有効求人倍率(季調値)	(1月) 1.07	(11-1月) 1.08
(3) 消費者物価指数(総合)	(1月) 1.5	(11-1月) 2.2
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 6	(前年同期差) 8
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(1月) 2.6	(11-1月) 0.3

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

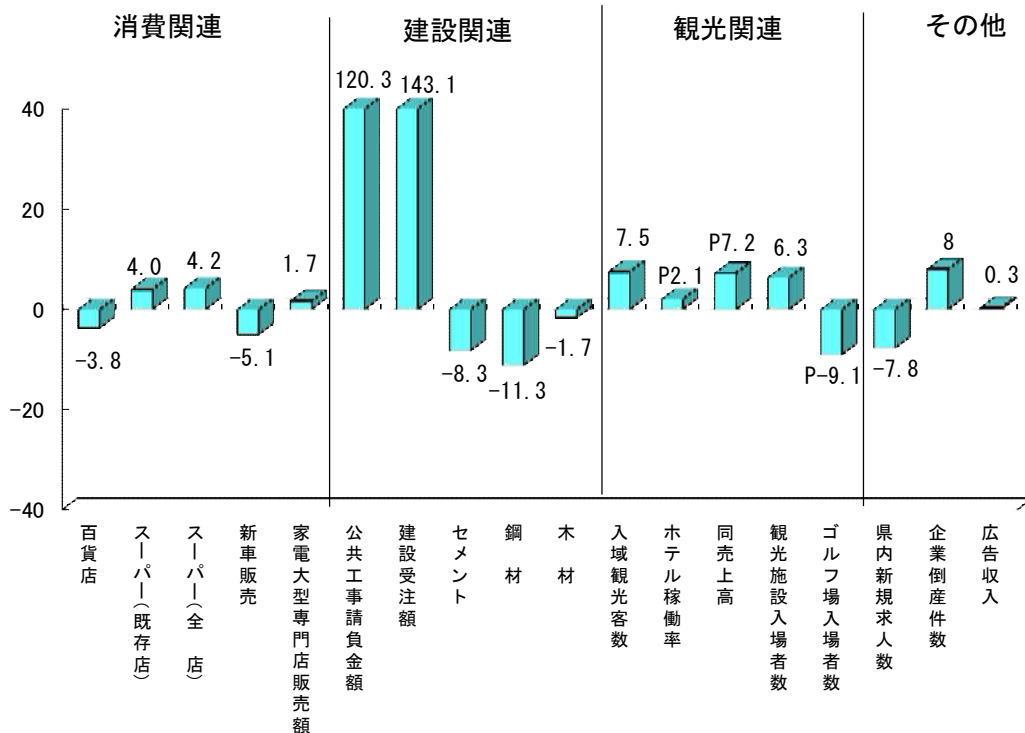
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2026年2月)

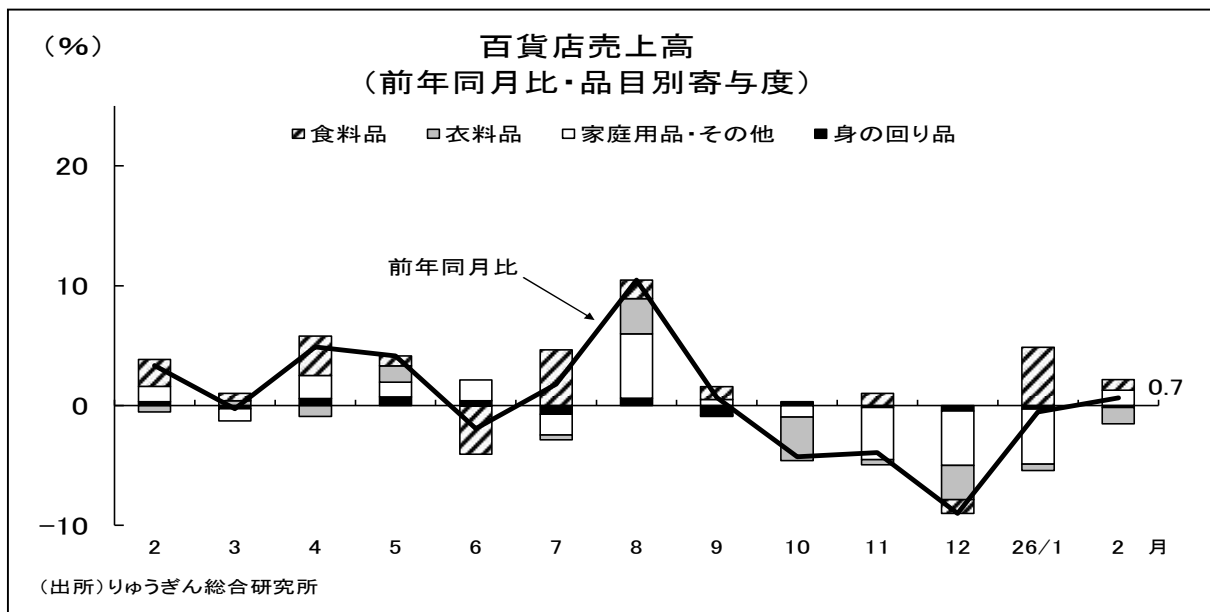


項目別グラフ(3カ月、2026年12月～2026年2月)



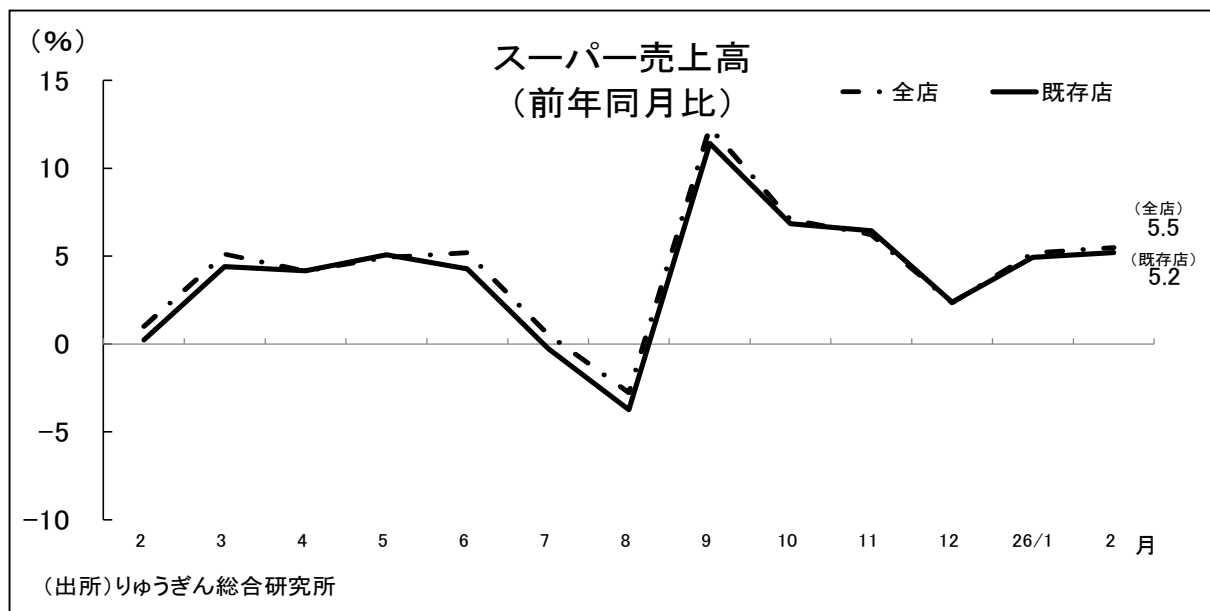
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：5カ月ぶりに増加



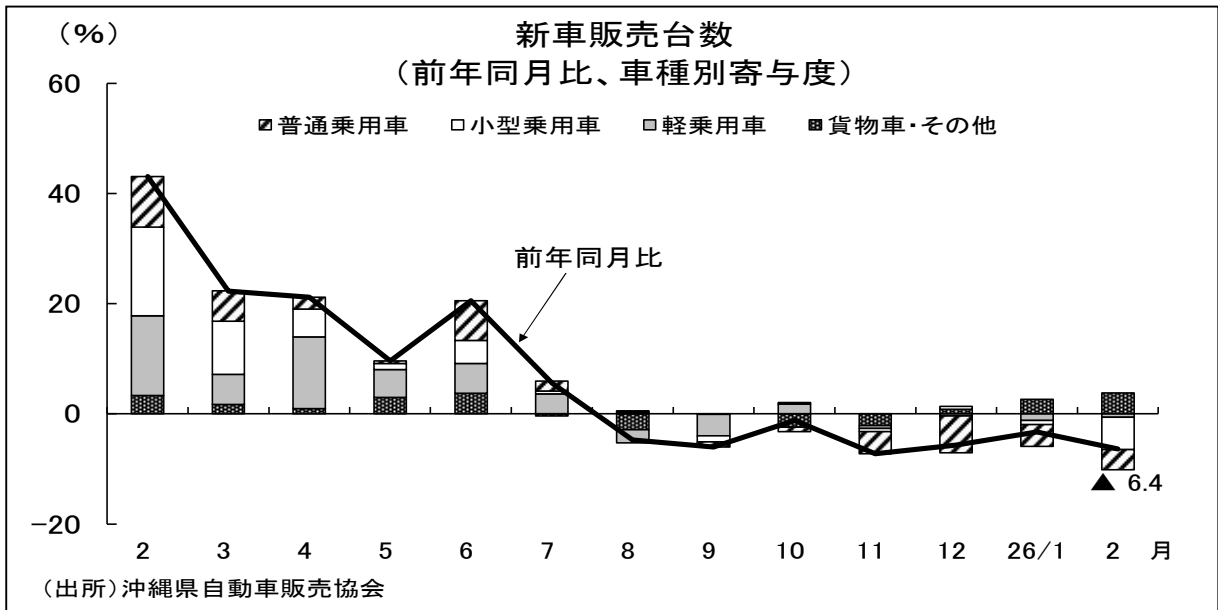
- 百貨店売上高は、前年同月比0.7%増と5カ月ぶりに前年を上回った。
- 催事企画により食料品と家庭用品が増加したことや、春節時期の相違（前年：1月29日、今年：2月17日）に伴い免税売上が増加したことなどが全体の売上を押し上げた。
- 品目別にみると、家庭用品その他が同65.1%増、食料品が同2.4%増、身の回り品が同2.6%減、衣料品が同4.9%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店、全店ともに6カ月連続で増加



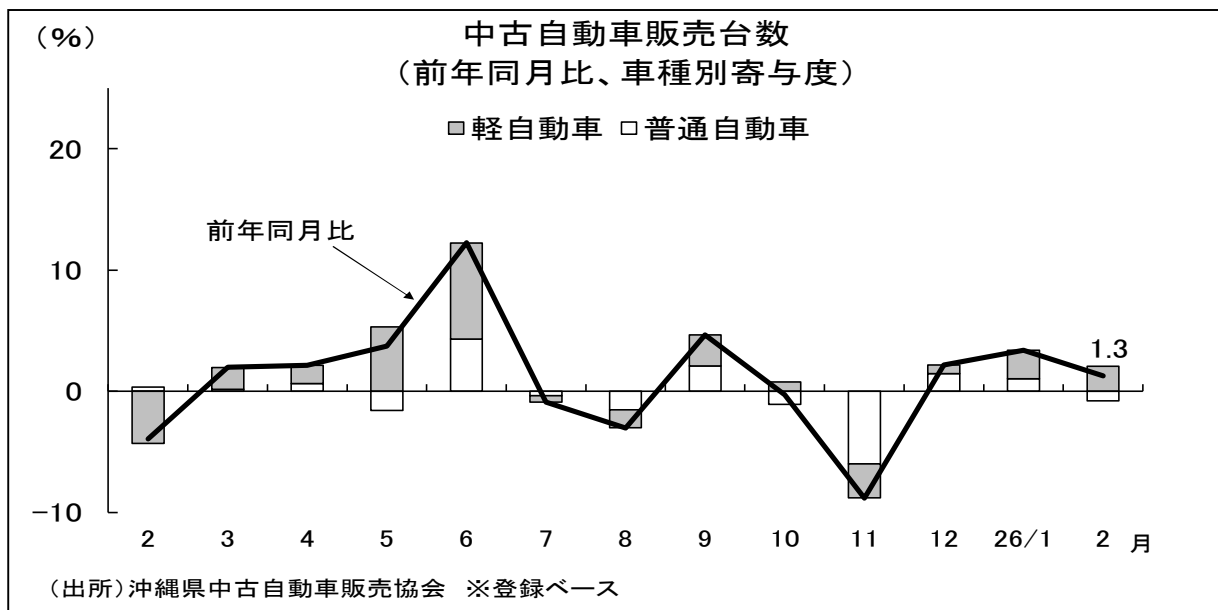
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比5.2%増と6カ月連続で前年を上回った。
- 来店客数の増加がみられ、引き続き好調に推移した。食料品は、節分や旧正月などの行事による需要も高く同5.0%増となった。衣料品は、気温上昇に伴いかりゆしウェアをはじめとする季節商材が好調となり同6.7%増、住居関連は同4.4%増となった。
- 全店ベースは、同5.5%増と6カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：7カ月連続で減少



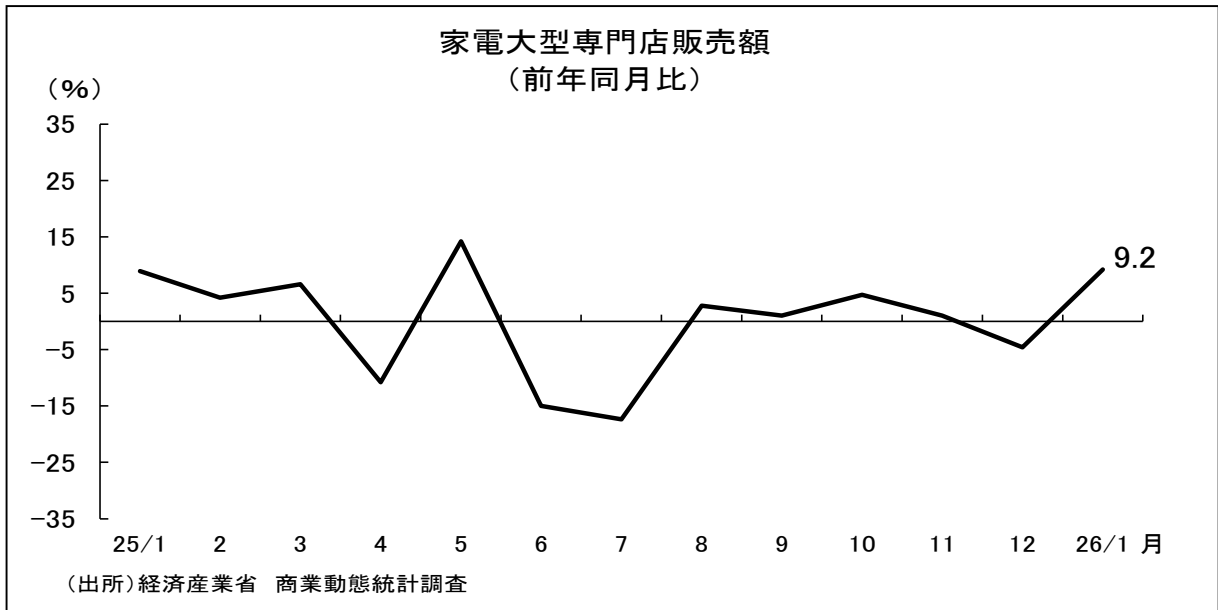
- ・ 新車販売台数は3,903台で、前年同月比6.4%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・ 用途別では、事業用が増加したものの、レンタカーや自家用車が減少し、全体を押し下げた。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は1,952台（前年同月比15.3%減）で、うち普通乗用車は902台（同14.5%減）、小型乗用車は823台（同22.9%減）であった。軽自動車（届出車）は1,951台（同4.7%増）で、うち軽乗用車は1,536台（同1.6%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：3カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1万8,593台で前年同月比1.3%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,278台（前年同月比2.0%減）、軽自動車が11,315台（同3.5%増）となった。

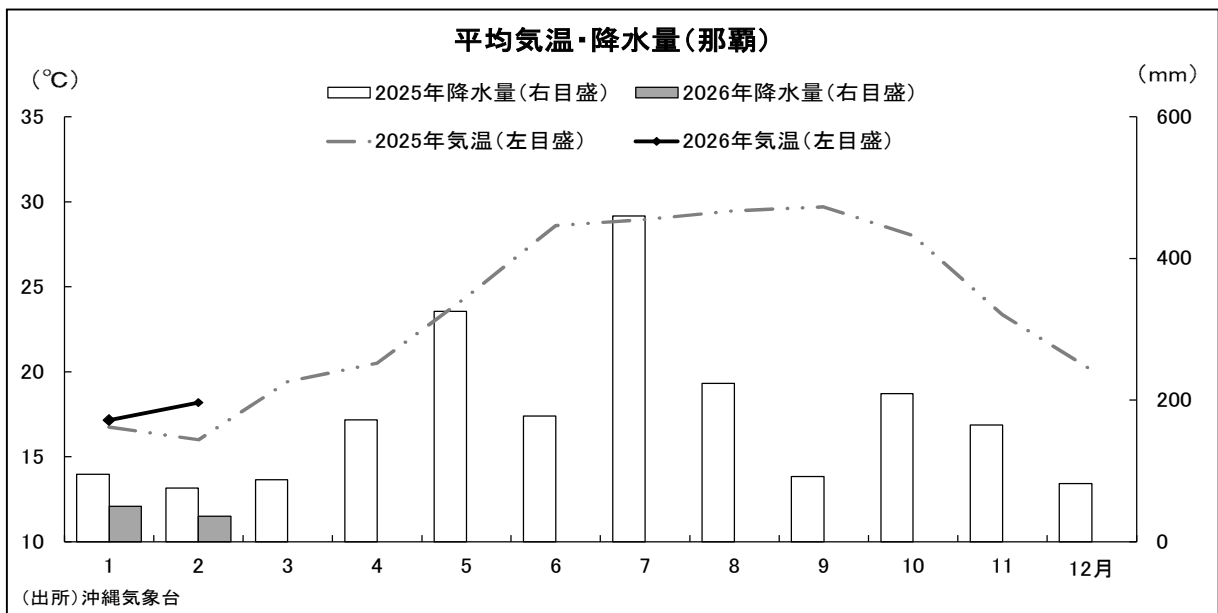
(5) 家電大型専門店販売額：2カ月ぶりに増加



- ・ 家電大型専門店販売額（1月）は、前年同月比9.2%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 年始の販促施策の効果で大型家電の売上が伸長し、全体を押し上げた。

(参考)

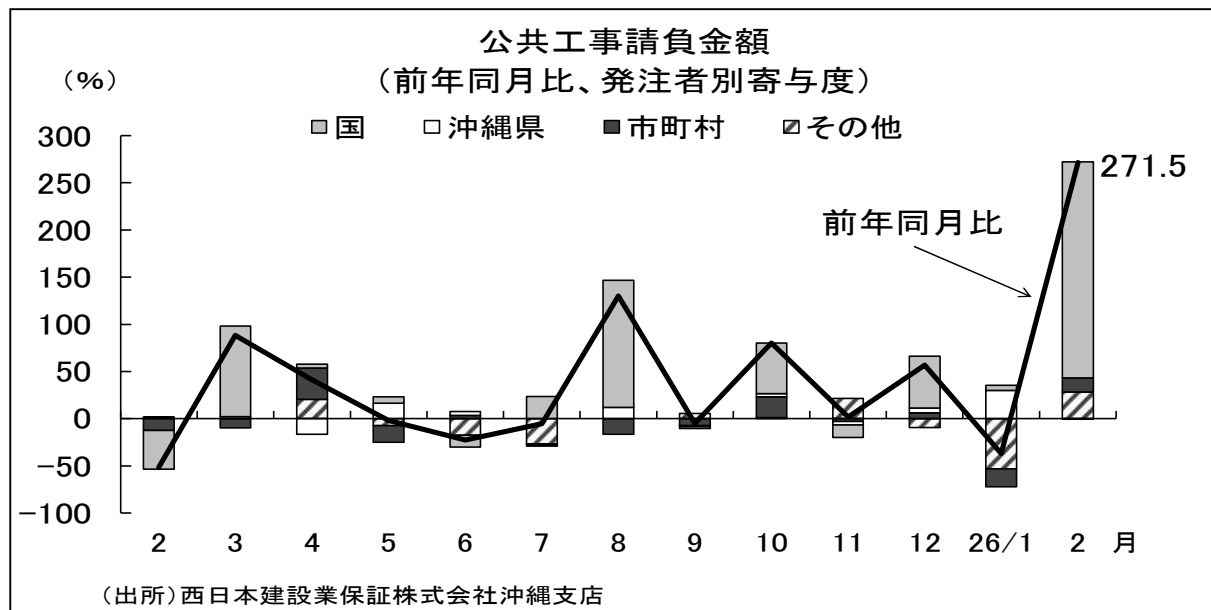
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は18.2°Cで前年同月（16.0°C）より高く、降水量は36.0mmで前年同月（76.0mm）より少なかった。
- ・ 沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬と下旬は気圧の谷や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日もあり、天気は数日の周期で変わった。
- ・ 平均気温は平年より高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。

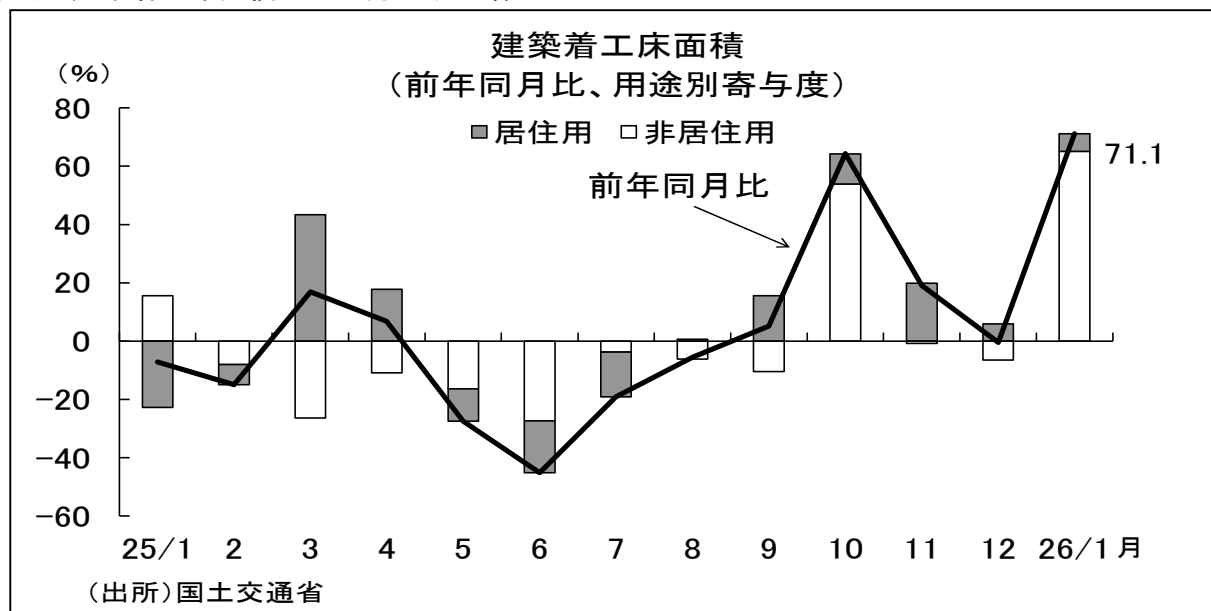
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



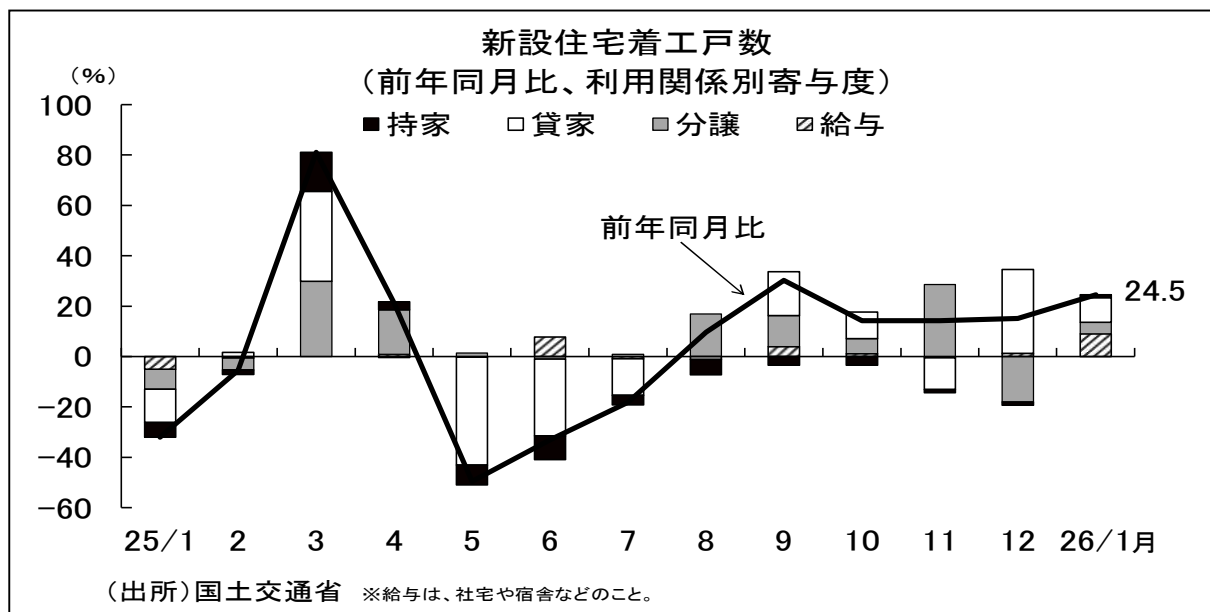
- 公共工事請負金額は、968億27百万円で前年同月比271.5%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国は同318.5%増、市町村は同125.2%増、独立行政法人等・その他は同843.1%増となり、県は同5.0%減となった。

(2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに増加



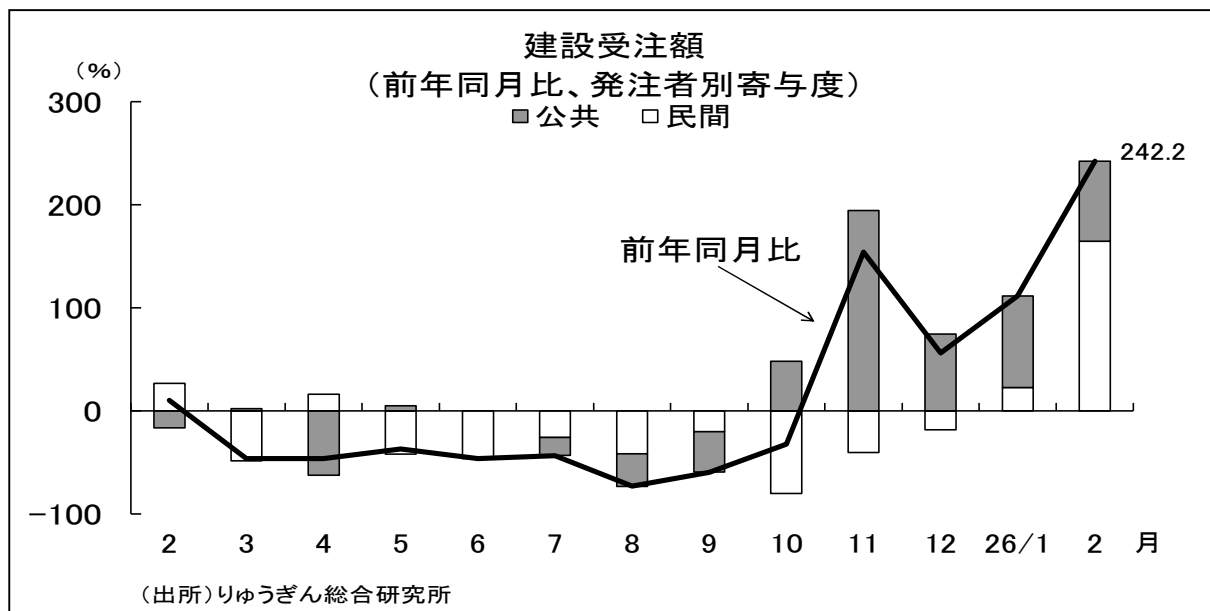
- 建築着工床面積（1月）は12万3,406㎡で前年同月比71.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。居住用は同10.2%増となり、非居住用は同159.3%増となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、医療・福祉用、飲食店・宿泊業用などが増加し、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：6カ月連続で増加



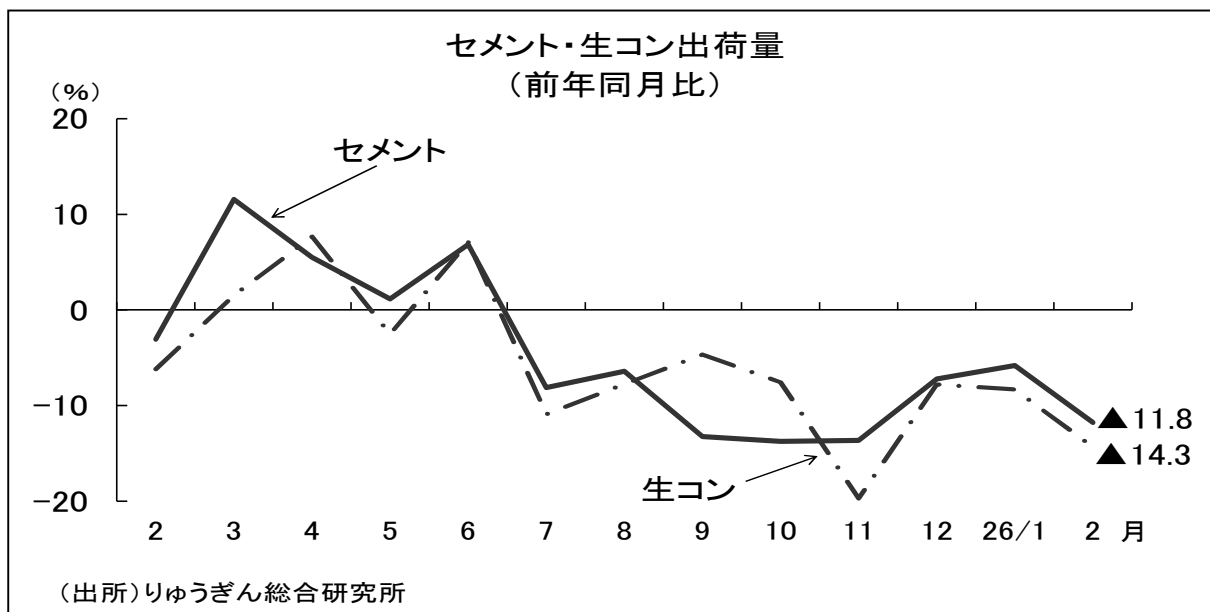
- ・ 新設住宅着工戸数（1月）は650戸で前年同月比24.5%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（148戸）が同4.2%増、貸家（319戸）が同19.0%増、給与住宅（49戸）が同2,350.0%増、分譲（134戸）が同21.8%増となった。

(4) 建設受注額：4カ月連続で増加



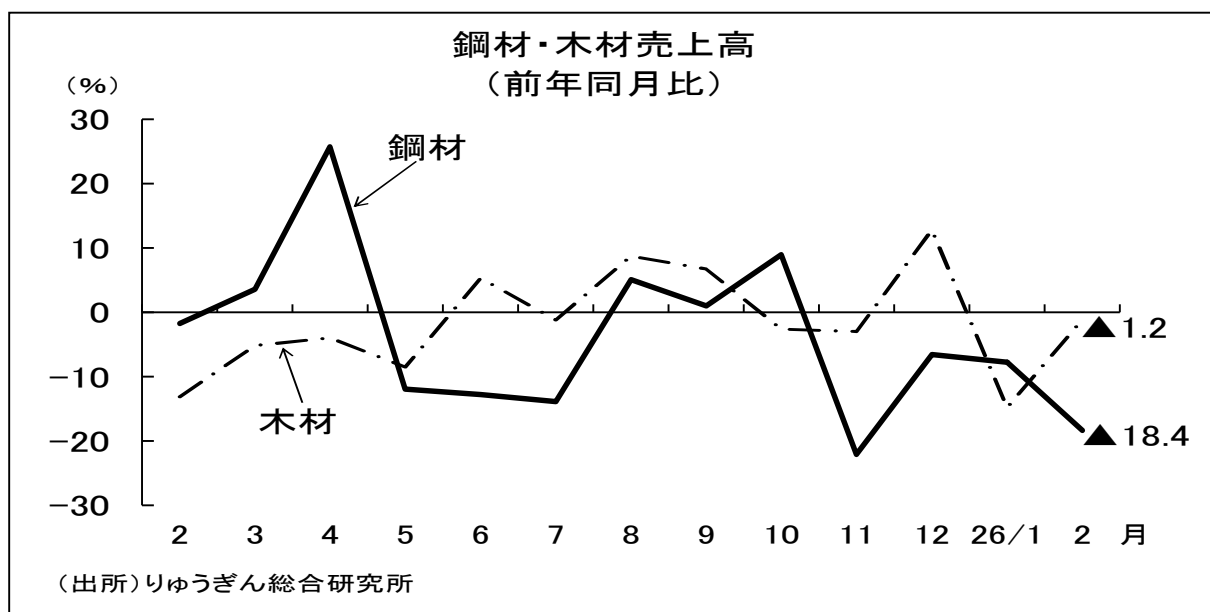
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比242.2%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同163.4%増と5カ月連続で増加し、民間工事は同313.4%増と2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに8カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万3,251トンとなり、前年同月比11.8%減と8カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は8万2,775 m³で同14.3%減と8カ月連続で前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けなどが増加し、学校関連向け、庁舎関連向けなどが減少した。民間工事では、マンション向けなどが増加し、共同住宅向け、個人住宅向けなどが減少した。

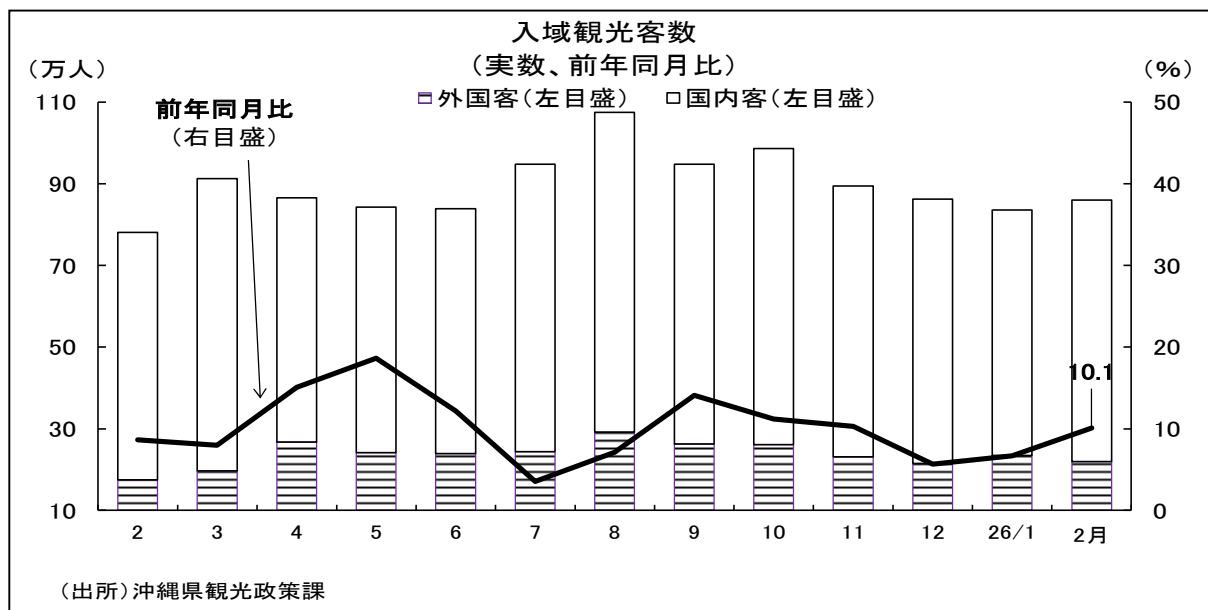
(6) 鋼材・木材：鋼材は4カ月連続で減少、木材は2カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が減少したこと、鋼材価格が下落したことなどから前年同月比18.4%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同1.2%減と2カ月連続で前年を下回った。

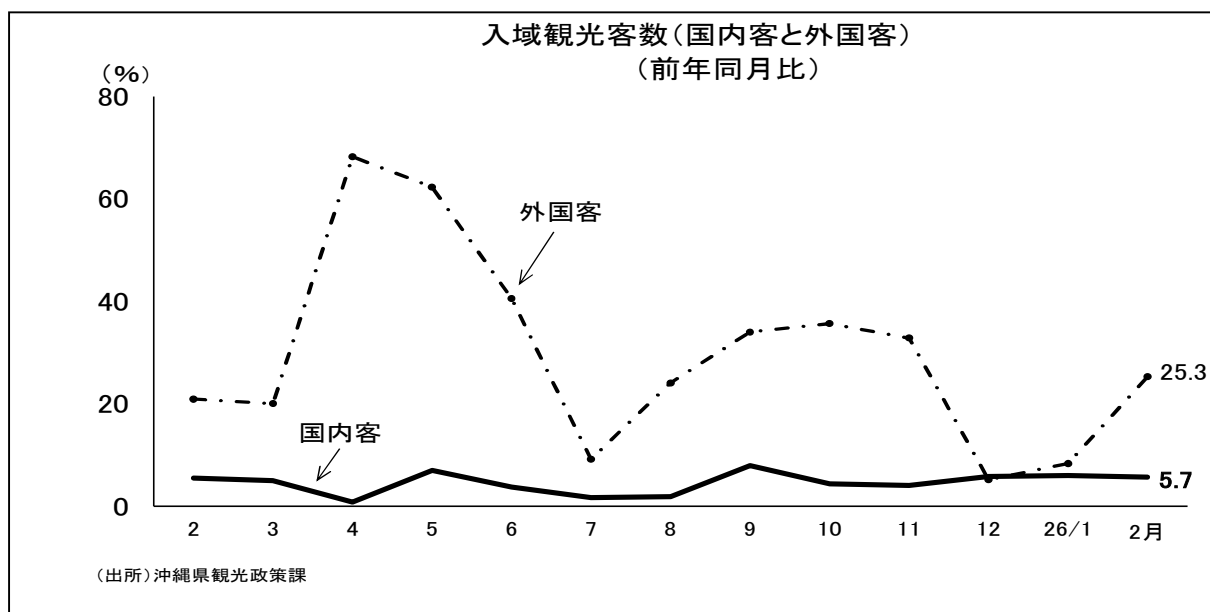
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：51 カ月連続で増加



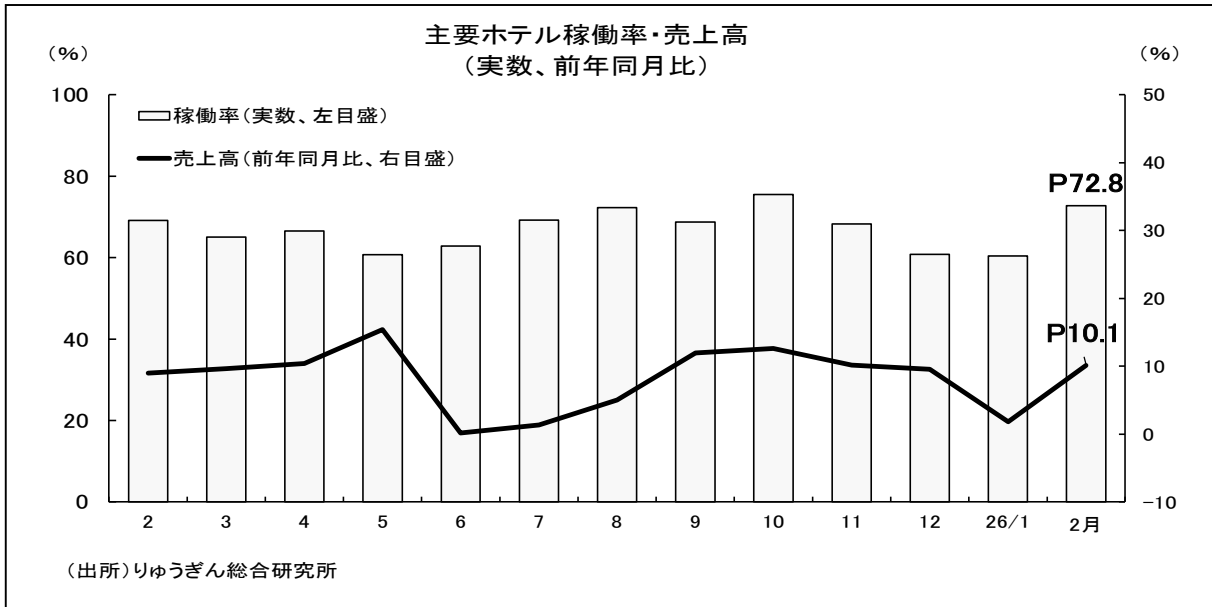
- 入域観光客数は、86万200人（前年同月比10.1%増）となり、51カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は81万1,800人（同10.5%増）となり51カ月連続で前年を上回った。海路は4万8,400人（同4.1%増）となり3カ月ぶりに前年を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は20 カ月連続で増加、外国客は41 カ月連続で増加



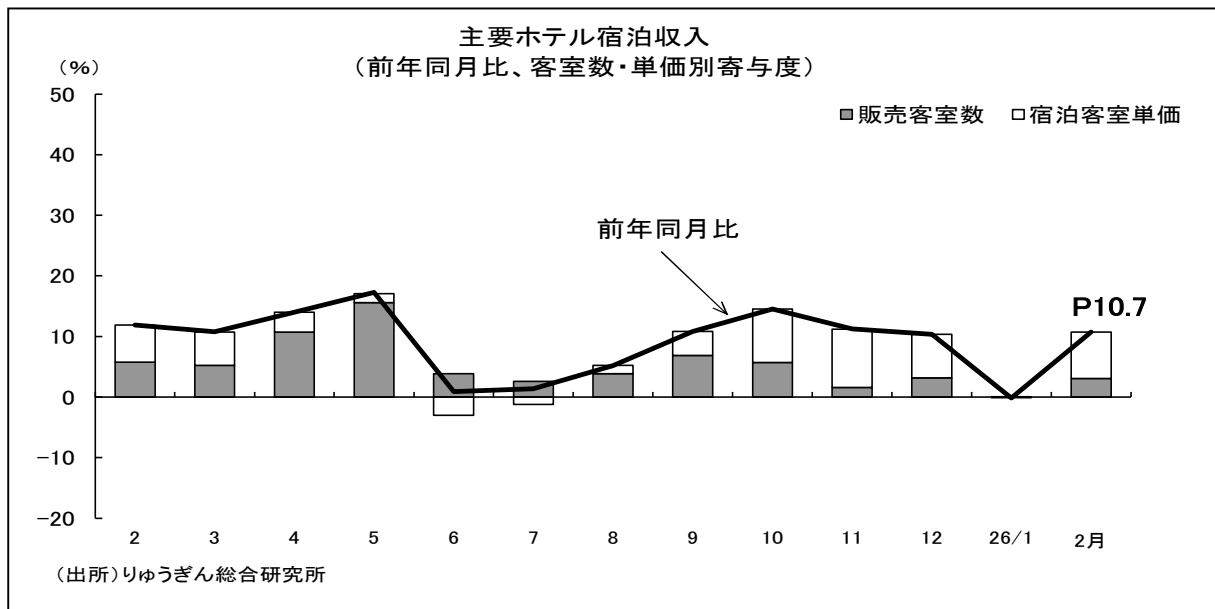
- 国内客は、64万800人（前年同月比5.7%増）となり、20カ月連続で前年を上回った。外国客は21万9,400人（同25.3%増）となり、41カ月連続で増加した。
- プロ野球キャンプなどのイベントや、地方チャーター便の運航があったことなどにより好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は23カ月連続で上昇、売上高は21カ月連続で増加



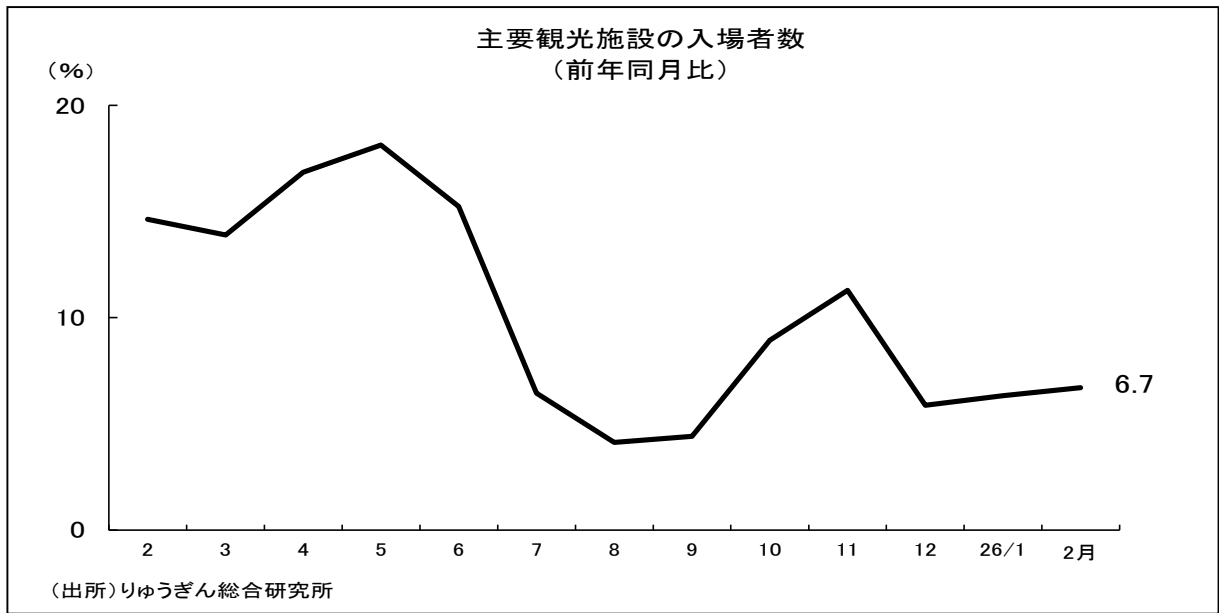
- ・ 主要ホテル（速報値）の客室稼働率は72.8%と前年同月差3.6%ポイント上昇し23カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比10.1%増となり、21カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は85.2%と同1.0%ポイント上昇し、2カ月連続で前年を上回り、売上高は同9.9%増と27カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は68.3%と同4.8%ポイント上昇し、23カ月連続で前年を上回り、売上高は同10.2%増と8カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月ぶりに増加



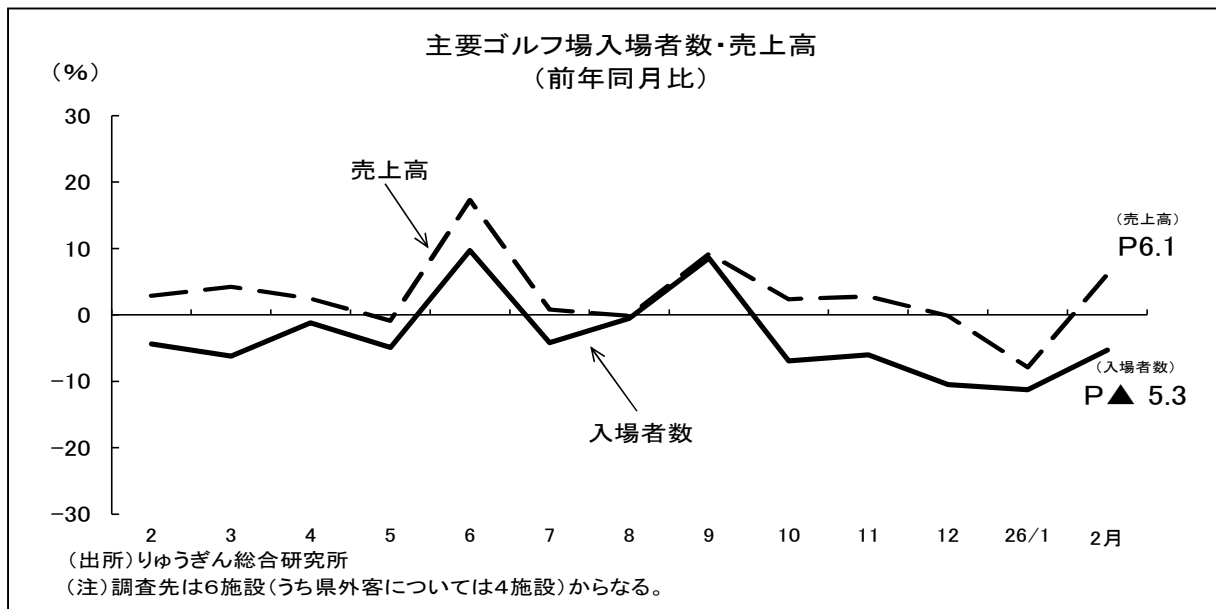
- ・ 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比10.7%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が減少、宿泊客室単価は上昇し、同11.2%増となり26カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同10.6%増となり2カ月ぶりに前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：48カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 6.7%増と 48カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行や団体・個人客が好調に推移した。

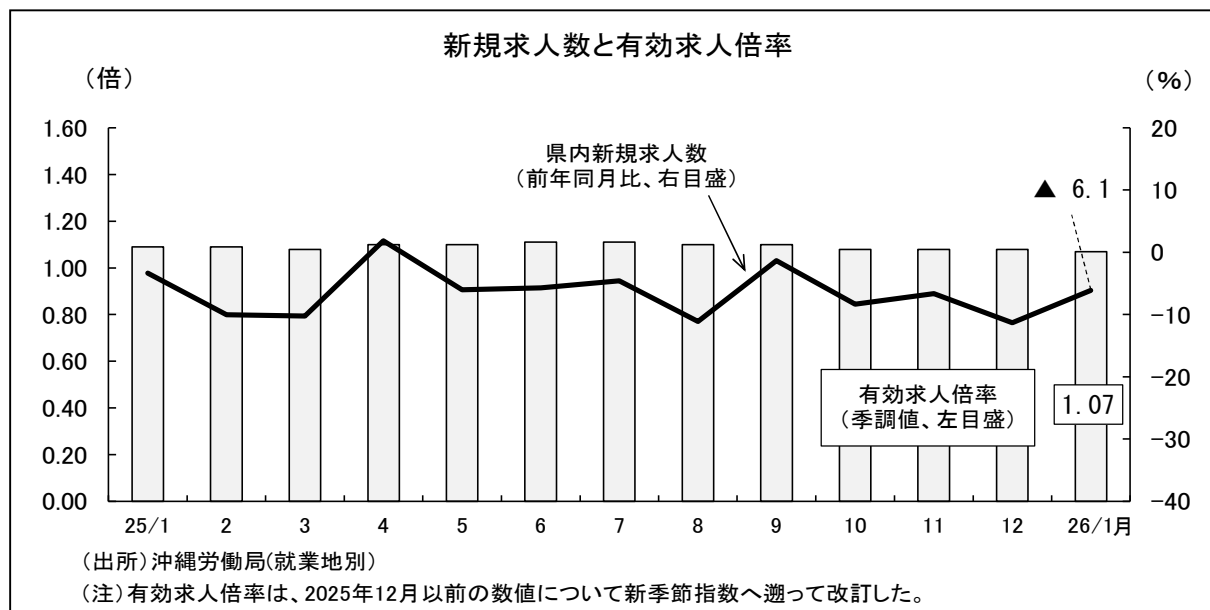
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は5カ月連続で減少、売上高は3カ月ぶりに増加



- ・ 主要ゴルフ場（速報値）の入場者数は、前年同月比 5.3%減と 5カ月連続で前年を下回った。
- ・ 県内客は5カ月連続で前年を下回り、県外客は2カ月連続で前年を下回った。売上高は同 6.1%増と 3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 県内客を中心に入場者数は減少したものの、単価の上昇により売上高は増加した。

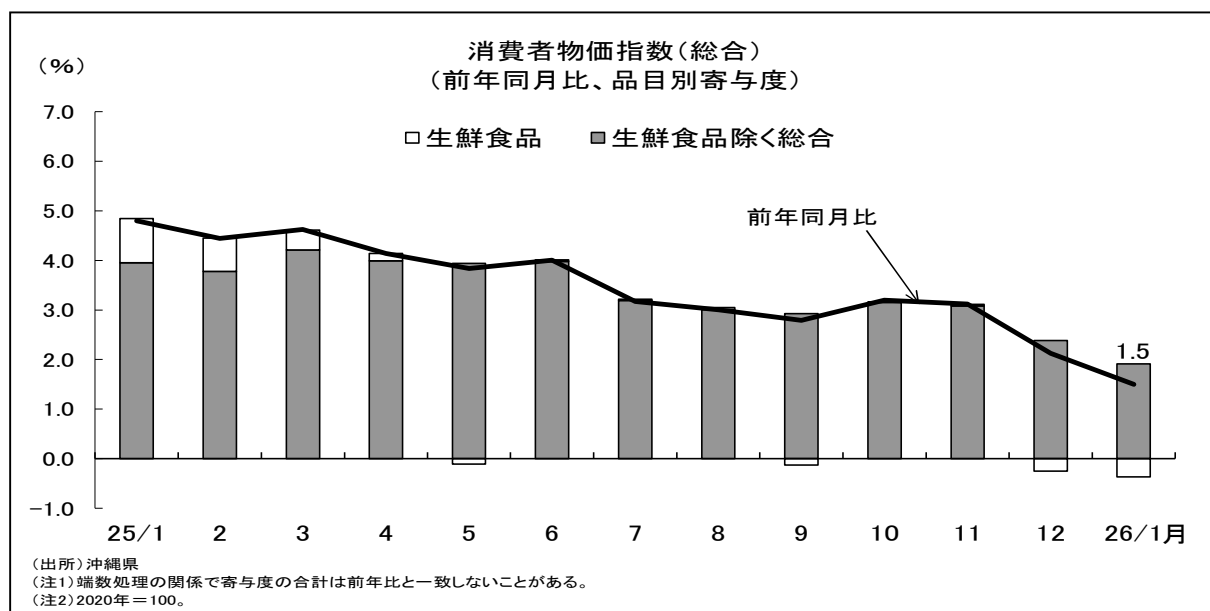
4. その他

(1) 雇用関連(再掲): 新規求人数(1月)は減少、有効求人倍率(1月、季調値)は低下



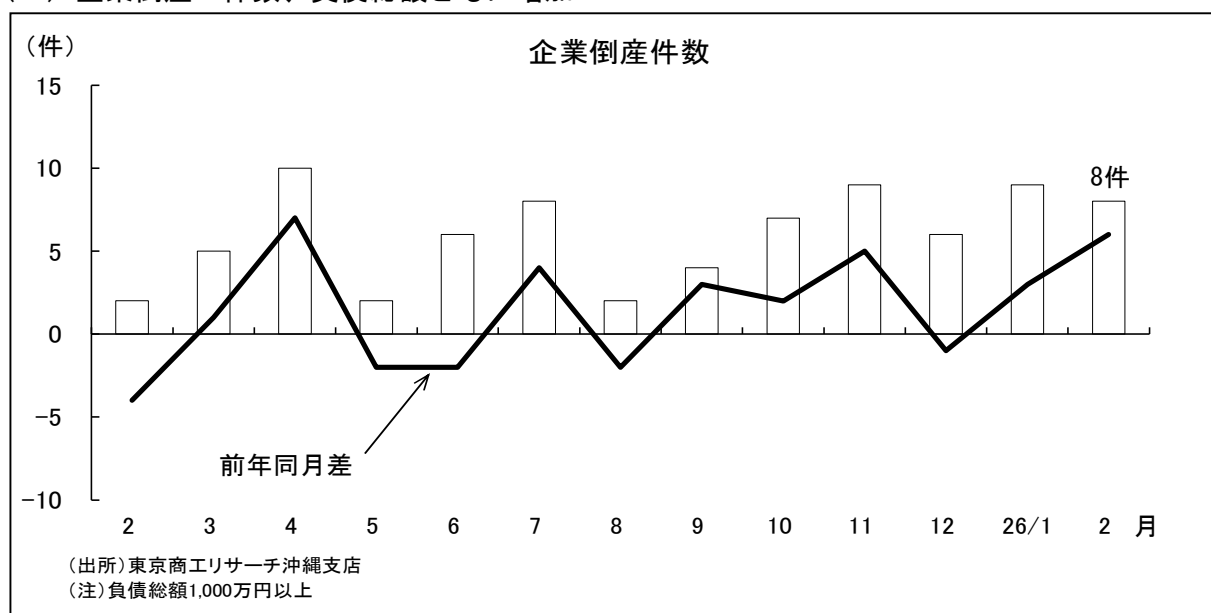
- ・ 新規求人数(1月)は、前年同月比6.1%減となり9カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、情報通信業や卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率(1月、季調値)は1.07倍で、前月より0.01ポイント低下した。
- ・ 労働力人口(1月)は80万5,000人で同0.6%増となり、就業者数は78万3,000人で同0.4%増となった。完全失業者数は2万2,000人で同10.0%増となり、完全失業率(1月、季調値)は3.1%で、前月と同水準となった。

(2) 消費者物価指数(再掲): 53カ月連続で上昇



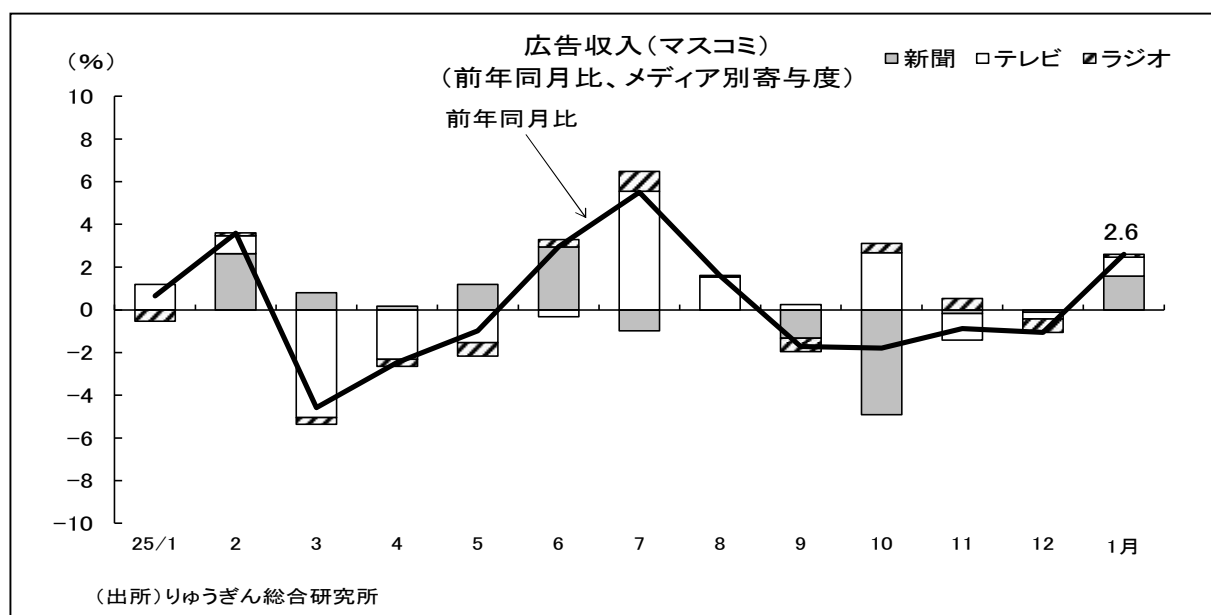
- ・ 消費者物価指数(1月)は、前年同月比1.5%の上昇となり、53カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.9%の上昇となった。
- ・ 費目別の動きをみると、食料、住居などで上昇し、教育などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は8件で前年同月から6件増加した。業種別では、建設業が3件、不動産業が2件、卸売業が1件、小売業が1件、サービス業他が1件となった。
- ・ 負債総額は17億9,200万円で、前年同月比1,728.6%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：5カ月ぶりに上昇



- ・ 広告収入（マスコミ：1月）は、前年同月比2.6%増と5カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 新年の広告や、選挙関連の広告需要により前年を上回った。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2025	0.8	3.7	4.2	▲ 1.3	10.3	0.9	472,857	16.6	1,167	▲ 3.2
2024 12	7.4	5.5	6.1	5.6	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	108	▲ 22.1
2025 1	11.5	5.3	5.9	8.9	38.5	1.6	20,977	▲ 50.2	72	▲ 7.2
2	3.4	0.2	1.0	4.2	43.1	▲ 3.9	26,062	▲ 51.7	64	▲ 15.0
3	▲ 0.3	4.4	5.1	6.6	22.3	2.0	141,950	88.1	121	17.0
4	4.9	4.2	4.1	▲ 10.8	21.2	2.1	20,078	41.1	116	6.9
5	4.1	5.1	4.9	14.2	9.6	3.7	21,968	▲ 2.0	109	▲ 27.5
6	▲ 1.9	4.3	5.2	▲ 15.0	20.5	12.2	26,348	▲ 22.7	73	▲ 45.2
7	1.8	▲ 0.3	0.6	▲ 17.4	5.6	▲ 0.9	42,763	▲ 5.6	80	▲ 19.2
8	10.5	▲ 3.7	▲ 2.8	2.8	▲ 4.7	▲ 3.0	54,259	130.0	91	▲ 5.5
9	0.7	11.4	12.3	1.0	▲ 6.0	4.7	31,280	▲ 5.2	90	5.1
10	▲ 4.3	6.8	7.1	4.7	▲ 1.2	▲ 0.3	44,324	80.0	154	64.3
11	▲ 3.9	6.4	6.2	1.0	▲ 7.3	▲ 8.8	27,096	1.6	89	19.1
12	▲ 9.0	2.4	2.3	▲ 4.6	▲ 5.7	2.2	15,752	56.6	108	▲ 0.4
2026 1	▲ 0.5	4.9	5.2	9.2	▲ 3.3	3.4	13,220	▲ 37.0	123	71.1
2	0.7	5.2	5.5	-	▲ 6.4	1.3	96,827	271.5	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	-	-	-
2025	9,916	2.2	▲ 23.7	▲ 3.4	▲ 4.2	▲ 2.5	▲ 1.3	-	-	-
2024 12	858	▲ 22.1	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	▲ 7.7	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
2025 1	522	▲ 32.0	141.4	2.6	5.5	▲ 1.6	▲ 4.9	290.5	0.0	0.0
2	605	▲ 5.5	10.2	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 1.8	▲ 13.1	289.7	0.0	0.0
3	1,155	81.0	▲ 46.4	11.5	1.5	3.6	▲ 5.2	297.7	0.0	0.0
4	1,034	21.4	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
5	406	▲ 49.5	▲ 37.0	1.1	▲ 2.5	▲ 11.9	▲ 8.5	291.4	▲ 10.3	▲ 4.6
6	644	▲ 33.1	▲ 46.4	6.8	7.1	▲ 12.8	5.3	280.3	▲ 6.9	▲ 6.9
7	781	▲ 18.2	▲ 43.3	▲ 8.1	▲ 10.9	▲ 13.9	▲ 1.2	254.8	▲ 10.3	▲ 9.2
8	816	9.7	▲ 73.2	▲ 6.4	▲ 7.8	5.1	8.7	254.9	▲ 10.3	▲ 9.2
9	1,055	30.2	▲ 59.5	▲ 13.3	▲ 4.7	1.0	6.7	256.0	0.0	▲ 6.9
10	1,035	14.2	▲ 32.2	▲ 13.7	▲ 7.6	9.0	▲ 2.6	246.4	▲ 6.9	▲ 2.3
11	875	14.2	154.2	▲ 13.6	▲ 19.7	▲ 22.1	▲ 3.0	250.8	0.0	▲ 5.8
12	988	15.2	56.2	▲ 7.2	▲ 7.8	▲ 6.6	12.8	264.3	▲ 3.4	▲ 3.4
2026 1	650	24.5	111.5	▲ 5.8	▲ 8.3	▲ 7.8	▲ 14.8	277.4	▲ 17.2	▲ 6.9
2	-	-	242.2	▲ 11.8	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 1.2	306.7	▲ 10.3	▲ 10.3
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲4.9
2025	10,755.8	11.2	2,835.5	32.9	73.7	60.5	15.0	1.4	12.3	P▲1.8
2024 12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	20.3	1.1
2025 1	783.4	24.5	216.6	79.9	71.3	54.8	28.4	26.2	25.4	▲0.7
2	781.3	8.6	175.1	20.9	78.9	63.6	15.8	7.1	14.6	▲4.4
3	912.4	8.0	197.0	20.0	76.3	60.9	21.6	7.1	13.9	P▲6.2
4	865.8	15.1	267.3	68.2	73.5	63.9	19.1	8.8	16.8	P▲1.2
5	842.7	18.6	241.7	62.3	69.0	55.5	31.4	9.5	18.1	P▲4.9
6	838.9	12.2	239.5	40.6	71.9	59.1	9.2	▲2.6	15.2	P9.7
7	947.8	3.5	243.6	9.2	72.5	68.1	9.8	0.3	6.4	P▲4.2
8	1,075.0	7.1	291.6	24.1	75.6	71.1	13.5	4.1	3.9	P▲0.5
9	948.0	14.1	263.1	34.0	70.4	68.1	15.4	11.4	4.4	P8.6
10	985.8	11.2	260.9	35.7	76.2	73.0	12.4	11.3	8.9	P▲6.9
11	894.5	10.3	231.7	32.9	73.3	66.4	5.8	11.1	11.3	P▲6.0
12	862.6	5.7	214.7	5.2	70.5	57.2	7.3	10.1	5.4	P▲0.1
2026 1	835.8	6.7	234.7	8.4	72.3	56.1	3.3	1.5	6.4	P▲11.3
2	860.2	10.1	219.4	25.3	85.2	P68.3	9.9	P10.2	6.7	P▲5.3
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人 数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2023	40	3,398	▲44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲4.2	0.0
2025	67	5,140	▲6.2	3.6	3.1	0.1	1.09	▲6.5	0.0
2024 12	7	491	346.4	4.5	3.1	1.9	1.11	▲5.0	▲3.7
2025 1	6	336	▲19.2	4.8	2.8	0.6	1.09	▲3.3	0.7
2	2	98	▲37.6	4.5	2.4	0.4	1.09	▲10.0	3.6
3	5	316	179.6	4.6	3.1	0.4	1.08	▲10.2	3.1
4	10	535	184.6	4.1	3.5	0.7	1.10	1.9	▲2.5
5	2	280	409.1	3.8	3.0	1.7	1.10	▲6.0	▲1.0
6	6	653	▲65.2	4.0	3.0	0.4	1.11	▲5.7	3.0
7	8	891	▲18.9	3.2	3.1	▲0.5	1.11	▲4.5	5.5
8	2	200	▲0.5	3.0	2.7	1.8	1.10	▲11.1	1.6
9	4	483	762.5	2.8	3.3	0.4	1.10	▲1.3	▲1.7
10	7	328	▲39.0	3.2	3.6	▲0.3	1.08	▲8.3	▲1.8
11	9	755	263.0	3.1	3.6	▲2.4	1.08	▲6.6	▲0.9
12	6	265	▲46.0	2.1	3.1	▲1.5	1.08	▲11.3	▲1.1
2026 1	9	1,049	212.2	1.5	3.1	0.4	1.07	▲6.1	2.6
2	8	1,792	1,728.6	-	-	-	-	-	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2025年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
2025FY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2024 12	476	211	265	1.420	63,599	2.6	62,829	2.7	43,933	4.0
2025 1	161	589	▲ 427	1.423	62,709	1.7	61,867	1.6	44,059	4.3
2	217	385	▲ 168	1.420	62,619	1.7	61,886	1.8	44,573	5.1
3	252	390	▲ 137	1.487	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	250	333	▲ 82	1.531	64,184	1.3	63,446	1.3	44,886	5.3
5	191	668	▲ 476	1.537	64,061	1.5	63,253	1.5	44,954	5.3
6	236	396	▲ 160	1.599	64,224	1.0	63,507	1.1	45,091	5.2
7	249	423	▲ 174	1.605	63,834	0.6	62,974	0.5	45,113	4.5
8	228	339	▲ 110	1.603	64,247	0.9	63,391	0.9	45,357	4.4
9	212	414	▲ 202	1.602	63,823	0.8	63,032	0.7	45,772	5.1
10	270	491	▲ 221	1.602	63,471	0.8	62,604	0.8	45,807	5.2
11	288	310	▲ 21	1.601	64,204	1.1	63,405	1.1	46,072	5.0
12	573	348	225	1.601	64,138	0.8	63,342	0.8	46,555	6.0
2026 1	159	609	▲ 450	1.604	63,441	1.2	62,547	1.1	46,586	5.7
2	-	-	-	-	-	-	62,800	1.5	46,800	5.0
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	-	-	41,614	304,121
2025FY	-	-	-	-	-	-	-	-
2024 12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	92.8	▲ 0.9	2,040	45,032
2025 1	9,567	▲ 6.2	2,747	▲ 6.4	92.7	▲ 12.7	1,915	22,405
2	9,512	▲ 6.8	2,717	▲ 7.1	80.5	▲ 13.9	11,433	22,700
3	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	91.1	0.4	2,631	17,269
4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	91.1	4.6	1,975	21,291
5	9,725	▲ 3.5	2,636	▲ 7.7	90.9	▲ 0.7	1,841	37,615
6	9,674	▲ 3.4	2,618	▲ 7.9	91.1	0.1	5,718	60,742
7	9,587	▲ 3.2	2,596	▲ 8.3	91.0	▲ 2.8	3,056	24,731
8	9,566	▲ 3.1	2,585	▲ 8.0	90.6	▲ 3.5	1,703	15,200
9	9,495	▲ 3.2	2,569	▲ 8.0	90.0	▲ 1.6	2,363	21,183
10	9,472	▲ 2.1	2,551	▲ 8.5	86.2	▲ 7.2	2,945	14,119
11	9,442	▲ 2.0	2,538	▲ 8.7	82.6	▲ 10.6	1,965	28,654
12	9,379	▲ 2.3	2,535	▲ 8.2	93.8	1.1	2,325	25,455
2026 1	9,688	1.3	2,529	▲ 7.9	-	-	2,369	37,243
2	9,644	1.4	2,521	▲ 7.2	-	-	2,091	16,145
出所	沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。